



政府華士族の家禄を廢止す。
 余邊の舊名家は其謀同士族と
 共々大變態場の創りや齊實也
 老公自の未澤に到り之を勉勵
 せしや内務卿余を招き曰く先
 君公將方卿するを老公自ら嘆き
 當難ふ止と後廢祿施券に
 事ハ形延害を不爲急事情
 度多や如士職を解全國之徴金を
 課せり且以て條理上不爲得止出
 歩行を事し得や士族之方向を
 示す節華族の前途如何と能
 否を其(君)君を東方に歸
 地就白殖産の大業に其力
 用し時直換九州に影響を起
 全國華士に活動氣を初り
 其法一掃に於て其不少世官
 職掌上大に期望する所あり
 云々夫より遂に内務卿と上
 杉老公と西層然議に上

其し

